



生きものが他の生きものや環境などに体を似せることを擬態といいます。隠れたり、だましたりできて生存に有利なんでしょう。それにしてもどのようにしてそっくりなものが生まれるのか。進化の興味深いところです。

【ビー・オーキッド】

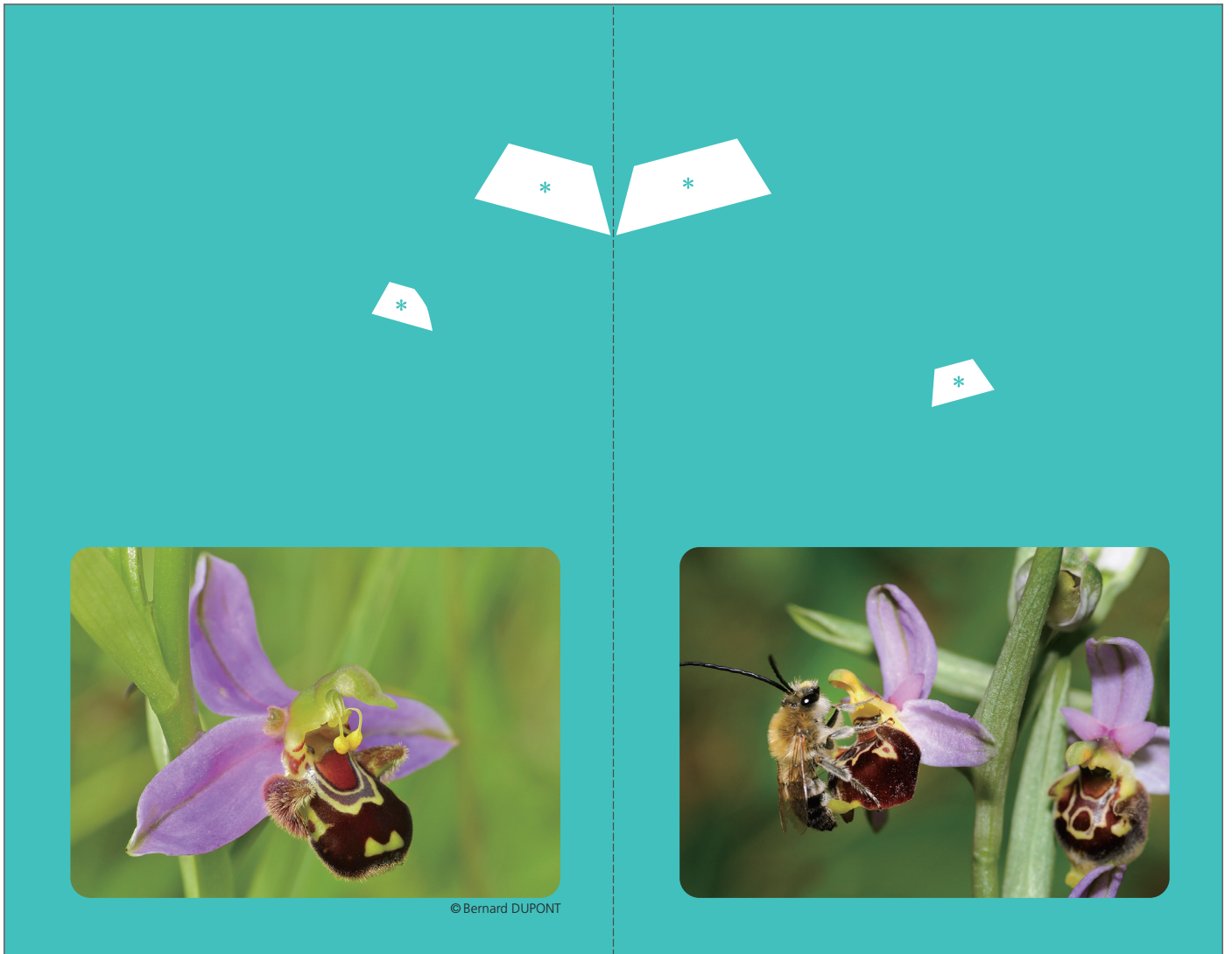
Ophrys apifera

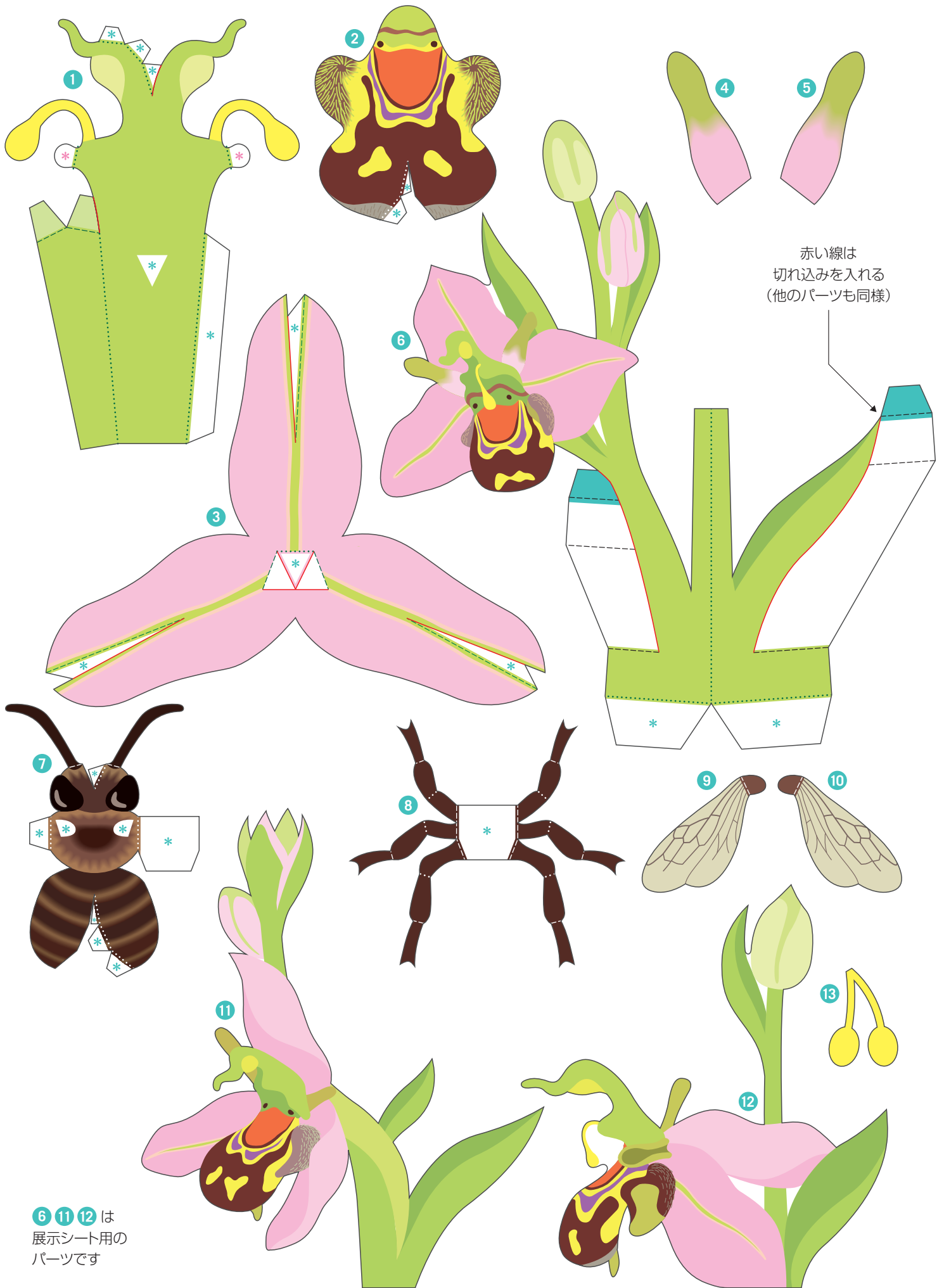


ビー・オーキッドは、かたちや匂いで雌のハチに擬態し、雄バチを引きつけます。その一種オフィリス・アピフェラの花を好んだダーウィンが、ハチと花との関係を観察したところ、特定の受粉バチは訪れず、多くは自家受粉をしていました。そこで、環境の変化によって擬態していたハチが減り、しかたなく自家受粉するように進化したと考えました。広汎な受粉者であるヒゲナガハナバチの助けをかりて他株とも交配しています。環境が変化し、受粉者が交代した後も擬態の歴史を残し、ヨーロッパの野原を彩っているビー・オーキッドを机の上に咲かせましょう。

BRH

カード内面





赤い線は
切れ込みを入れる
(他のパーツも同様)

6 11 12 は
展示シート用の
パーツです